

EZ Topics 5 SDGsの視点で日本科学未来館を見学～理数教育事業～



1月23日、英数コースの1,2年生が日本科学未来館を見学しました。見学に先立ち、2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な開発目標であるSDGsについて学び、世界が抱える

地球規模の様々な課題解決のための国際目標を知り、世界で抱えている問題をみんなで考えました。科学講演会で学んだSDGsと結び付けてひとり一人が考えながら1日かけて日本科学未来館を見学しました。地球上で起こっている環境問題、再生医療について、未来の私たちの望む暮らしなど科学技術について学ぶことができました。館内のあちこちで学習したことをプリントに記録している生徒を見ました。また未来



館ならではの飲み物ユウグレナのジュースを飲みながら談笑する姿も見かけました。集合時間ぎりぎりまで見学し、記録をとる生徒たちもいて時間を惜しみ見学する様子が見られました。

EZ Topics 7 いのちや人間関係を考える～1・3年保健講話～

2月5日、3年生を対象にした「いのち」についての保健講話が行われました。もうすぐ成人となる3年生たちは、生まれてくる「いのち」について学ぶことで、自分たちが「いのち」を生み出すことの重みを自覚し、また自分に「いのち」を与えてくれた周囲への感謝の気持ちを新たにしました。



また1年生は同日、保健講話として「デートDV予防講座」を受けました。高校生となり複雑な人間関係を抱えることも多くなった1年生達も、最近問題の「デートDV」について知り、その対策を学ぶことで、新たな目で自分たちの人間関係を捉え直すきっかけとなりました。



校訓
和敬 叡智 創造



EZ Topics 6 華やかなフラメンコに感動～同窓会記念講演～

11月4日塩山高校同窓会創設60周年を記念して、フラメンコ舞踊家の角田崇さんをお招きして「好奇心・行動・出会い」をテーマに記念講演会がおこなわれました。



表現者としてフラメンコ舞踊やパントマイムに向き合う姿勢や熱い思い、そこに至るまでの経緯など、自分の歩んできた人生を1つのパズルに例えて、出会いや好奇心や行動といった様々なピースが組み合わさって今の自分ができあがっていること。振り返ると無駄なピースはひとつもなかったことなど、お話を交えながらパフォーマンスしてくださいました。

迫力あるフラメンコの踊りを目の当たりにして生徒たちは大変有意義な時間を過ごせました。本校の吹奏楽部との共演も見所で、場がとても和やかで楽しく、温かな雰囲気につつまれました。



新一年生から制服が新しくなります！



冬服



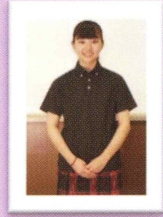
夏服



↑冬セーター (グレー)



↑エンブレム



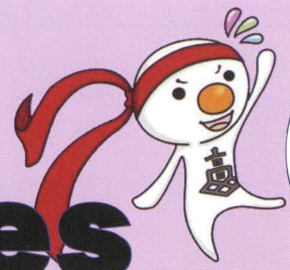
↑夏ポロシャツ (黒)

EZ times 第14号
発行：山梨県立塩山高等学校
〒404-0047 甲州市塩山三日市場440-1
☎ 0553-33-2542
発行日：令和2年3月



塩山高等学校 学校通信 [イージータイムス]

EZ times



ここが
未来の起点

Vol. 14

2020 | MARCH

普通科と商業科を併設した総合制高校である塩山高校で、『ここが未来の起点』を目標にひたむきに頑張っている生徒たちの姿を皆さんに知ってもらいたい。そんな思いのこもった学校通信です。ぜひご覧ください。



高校生の『声』を届けたい

悔しさをばねに ウェイトリフティング関東選抜2位
2年 鶴田 はな(普通科)



私がウェイトリフティングを始めたきっかけは、中学の時に塩山高の先生に勧誘を受け「面白そう」と思ったことです。しかし実際に始めてみると大変で、投げ出したくなることもありまし

た。それでも「始めたからには3年間続けたい」と考え努力し、次第に結果も出るようになりました。

今年度は県大会で優勝したものの、続く関東大会で3位以内に入れず悔しい思いをしました。次の関東では入賞という結果を残そうと努力し、今まで以上に頑張りました。結果、1月に行われた関東の選抜大会で自己ベストを出し、2位に入賞することができました。

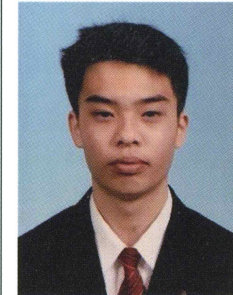
女子で「ウェイトやっている」というと引かれることもありますが、実際はスリムな子もやっているし、最初はつらくても徐々に「楽しい」と思えるようになります。私も来年度は最終学年として、自己ベストを更新して今以上の実績を残していきたいです。そして、もっとウェイトリフティングの魅力を伝えていければ良いと思っています。



関東選抜の表彰式。写真左が鶴田さん。

山日新聞 高校生俳句・短歌大会に入賞して

1年 渡辺 建祥(商業科)



僕は山梨日日新聞の高校生俳句・短歌大会で佳作をいただきました。なぜこの俳句を作ったかと言うと、これから夏に向かって行くというので、色々な顔をした向日葵を思い出し、それぞれの顔に点数をつけようと思ったからです。

表彰式はYBSのホールで行われましたが、写真や俳句それぞれの賞を取った人達が年齢問わず来ており、一人一人表彰されました。とても静かで、緊張しました。その後審査の先生方とお茶会が開かれました。何人かのグループに別れ、様々な学校の人達と俳句座談会のようなことをしました。ケーキを食べながら、それぞれの俳句をどんな気持ちで詠んだのかを先生方と話をしました。皆それぞれ俳句に込めた思いが違っていたと思います。機会があったら、是非また俳句を作ってみたいと思いました。

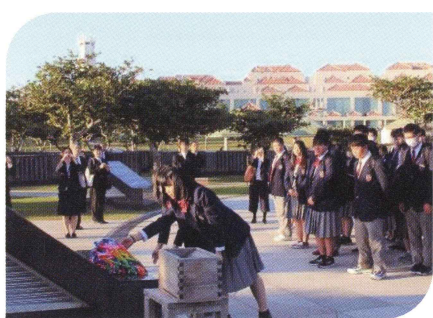
いまわりに平均点を付けてみる 渡辺建祥

EZ TOPICS 1 沖縄で 平和と 人の温かさを 学ぶ ～2年修学旅行～

修学旅行委員長 2年 赤池未羽（普通科）

12月8日～11日の4日間修学旅行がありました。沖縄では平和祈念講話で戦争を経験した方のお話を聞いたり、班別やクラス別で沖縄を回ったり、糸数壕に入ったり、国際通りで、現地の方と交流したりお土産を買ったり多くのことを経験しました。戦争の恐ろしさや悲惨さを学ぶと同時に沖縄の人達が二度と戦争が起こらないよう私たちのような若者にも、辛かったことなどを教えてくださいました。また、沖縄で海や景色などを実際に見て直接触れたことで、自然の豊かさを実感することができました。沖縄の方々も優しく気さくでとても温かく、多くの事を感じることができ、とても良い学びの場となりました。

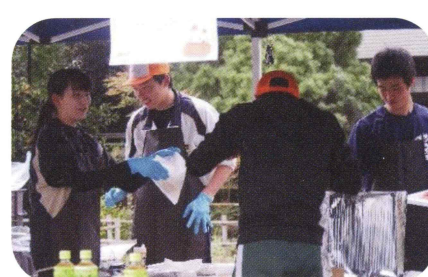
来年は三年生となるので沖縄で感じた人々の温かさを自分たちも持ち、今後の学校生活を過ごしていきたいと思います。



EZ TOPICS 2 「甲州天空かぼちゃ祭り」に生徒考案の食品で出店 ～商業科～

10月20日(日)JR塩山駅前にある甘草屋敷をメイン会場に「甲州天空かぼちゃ祭り」が行われました。商業2科の3年生で課題研究を受講している「調査研究グループ」の生徒たちが考案した塩山高校名物！「天空かぼちゃ入りワイン豚バーガー」や「天空かぼちゃ入りのパン」、「天空かぼちゃマフィン」を販売しました。

このお祭りは地元の学校に通う若者を中心に企画や運営を行い、地域にある新たなブランドの開発や街づくりの活性化につなげようとする取り組みです。ぶどう栽培が盛んなこの地域にある遊休ぶどう棚を再活用した天空かぼちゃは通常栽培するかぼちゃより、多くの日光を取り込み、また養分もしっかり吸収するためとても甘くておいしいと評判です。甲州天空かぼちゃはこの地域でしか栽培されておらず新たな地域ブランドの可能性が期待される作物です。本校ではその天空かぼちゃを使い、商品を作りお客様に提供する活動を行いました。活動を通じて地域の方々や、近隣県外の方々に少しでも甲州市の良さを知ってもらおうと取り組みました。当日は840名超の来場者があり、用意していた商品もすべて完売する大盛況に終わりました。この活動を通じて地域の魅力を再確認することや接客、販売など実際の活動を通じて多くの経験をすることができました。



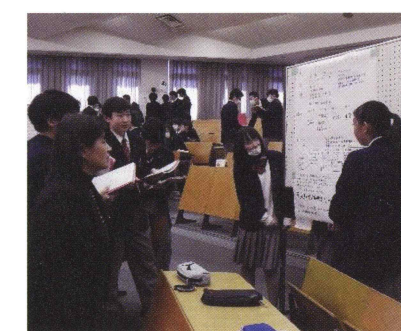
EZ TOPICS 3 甲州市役所で「地域活性化プロジェクト」活動報告 ～3年総合的な学習の時間～



11月5日、3年英数コース生徒21名は、甲州市役所において「地域活性化プロジェクト2019」の活動報告を行いました。各グループのテーマは、「マイクロチップを使って犬猫殺処分を防ごう」、「甲州市にさらなる観光客を！！」、「塩山駅前の都市整備～高校生の視点から～」、「高齢者と子どものふれあいの場を作ろう！！」でした。各班、自分たちの進路に関係の深いテーマのもと、地域の課題を見つけ、インタビューやアンケート調査をもとに、解決策を考えました。

マイクロチップ促進のポスターや外国人の目にも留まる観光ポスターを作成したことや、お年寄りと子どもが触れ合う場を作った実践を報告するとともに、都市整備や福祉に関する市への提案を発表しました。活動の中で、大菩薩に登ったり、塩山の朝市に行ったり、「健幸教室」に参加したりと様々な体験をし、地域についての知識を深めることができました。今後も甲州市唯一の高校として、地域に貢献できるような活動を行っていききたいと思います。

EZ TOPICS 4 社会を知るためのインタビュー実践と発表を実施 ～1年総合的な探究の時間～



12月11日に1学年の総合的な探究の時間でインタビュー実践を行いました。普通科は公務員や美容師・果樹園経営など14の職種の方々に学校にお招きして、生徒の質問に答えて頂きました。また商業科は、生徒全員が日本銀行甲府支店と「かいてらす」におもむき、お金のことや山梨の特産品・観光について職場の方にインタビューを行いました。どちらの科でも、事前に考えた質問に基づき、知りたいことについて熱心にインタビューをする生徒たちの姿が見られました。

その後、聞き取った内容を模造紙に新聞形式でまとめクラスで発表、その中で優れたものを2月5日に学年発表会で発表しました。視聴覚室という広い空間での発表ということで、多くの生徒や先生に見ていただくために、さらに工夫をこらす生徒の姿が見られました。聞く側の生徒たちも、それぞれの仕事の大変さ・やりがいや高校生視点でまとめた普通科の発表、知っているようで知らなかったお金と経済の仕組みや山梨の地場産業についてまとめた商業科の発表を、それぞれ行き来しながら興味深く眺め、質疑にも熱が入っていました。